

緑の風



令和7年・12月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

し し なわ い そう き 獅子が縄踏み、象や来む

校長 福江大幸

「獅子が縄踏み、象や来む」、これは何だと思いますか。言葉からその意味を考えると、「ライオンがロープを踏んで、ゾウがやってきた」となりますが、これはどういうことでしょうか。この言葉は次のようになります。「ししかなはふみ、さうやきむ」…、いささか文語調ですが、これは、日本の伝統的なあるものを覚えるときの語呂合わせの言葉なのです。

し	し	か	な	は	ふ	み	さ	う	や	き	む
しわす	しもつき	かんなづき	ながつき	はづき	ふみづき	みなづき	さつき	うづき	やよい	きさらぎ	むつき
12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月

そうです、陰暦の12ヶ月のそれぞれの呼び名を、逆の順番で覚えるための言葉なのです。ですから、1月は「むつき」、2月が「きさらぎ」…となり、11月は「しもつき」、そして今月12月は「しわす」となるわけです。

今年もあとひと月となりました。子どもたちも、テレビや新聞などで「しわす」という言葉を耳にするかもしれませんね。高学年の皆さん、それぞれの漢字表記を調べてみるのも勉強になります。また、一段と寒くなる季節ですので、子どもも大人もこれまで以上に健康に注意ていきましょう。

さて、先日、自宅の片付けをしていたときに、何年か前に保護者や地域、そして教員に向けて配付された東京都のリーフレットを見つけました。「大人が変われば、子どもが変わる子どもが変われば、未来が変わる」というタイトルがつけられた「心の東京革命行動プラン概要版」(東京都 心の東京革命推進協議会)です。その中に、子どもの育成の方向として、

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ◆社会の「きまり」や人との約束を守る | ◆思いやりをもつ |
| ◆自らを律することができる | ◆責任感、正義感をもつ |
| ◆人々や社会のために役立つことに喜びを見いだす | |

と書かれており、その行動主体は「家庭、学校、地域、社会全体」とされています。つまり、私たち大人が自覚と責任をもって、正義感や倫理観、思いやりの心を育み、人が生きていく上での当然の心得を子どもたちに伝えていく、そのような取組が「心の革命」であるということです。

これら5つは、子どもたちの将来の人間像として当たり前ではあるものの、とても大事なものと言えますし、そのような「人」に育ってほしいと願っています。今回は、「心の東京ルール～7つの呼びかけ～」を紹介します。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 毎日きちんとあいさつさせよう | 2 他人の子どもでも叱ろう |
| 3 子どもに手伝いをさせよう | 4 ねだる子どもに我慢させよう |
| 5 先人や目上の人を敬う心を育てよう | 6 体験の中で子どもを鍛えよう |
| 7 子どもにその日のことを話させよう | |

これらの取組は決して色あせることなく、令和の時代でも通用することです。年末年始に、ご家庭で言葉に出して話をしてみるのもよいですね。

